

**縫部議員**  
町長施政方針では、小屋浦一丁目の再開発事業を行うとある。当町の人口増加に大きな影響があると考えますが、事業を進めるにあたり、財源や道路の確保、駅周辺の整備を含め、長期的になると思うが、具体的な構想は。

**安竹議員**  
小屋浦一丁目の民有地を取得することで、再開発事業計画が大きく変わったのではないかと、今後の活用方法は。



縫部 逸都 議員  
安竹 正 議員

## 小屋浦地区再開発事業

**町** 可能な限り早期の整備完了に努める  
**小** 小屋浦地区の再開発事業による賑わいと人口増を

町長

これまでの進捗状況は、小屋浦地区活性化基本構想策定及び民間活力導入可能性調査業務を発注、その後、旧シエル石油用地を取得することが可能となったことで、二つの土地を一体化した構想にする作業を行っている。まだ未確定ではあるが、誘致、整備する施設は住居施設と商業施設になる。整備にあたり、町有住宅の方々の移転に伴う生活再建を最優先に施設配置を検討している。周辺整備は、商業施設の整備にあたり、国道31号の渋滞緩和に向け、国と協議、その他、駅利用客増加に対する対応や国道を横断する歩行者への対応、また、財源としては公営住宅に対する国の補助金と町債を考えている。



小屋浦地区の人口増を

**議員**  
再開発事業後の小屋浦地区の人口は何人を目指すのか。

**町長**  
豪雨災害以前の人口1800人以上を見込んでいる。

柚木 喬 議員

令和7年度介護保険事業特別会計予算において、認知症高齢者5人に1人問題の対策で、施設状況、施策内容は、また、歳入不足対策として、保険料の引き上げや基金の導入、法定外繰り入れが考えられる。その他施設の増強や施策のために捻出する歳出を最小経費でしのげる工夫は。



いきいき100歳体操で介護予防

**町長**  
令和7年度予算は、第9期介護保険事業計画に基づき予算編成しており、新たな施設の導入にかかる経費は計上していない。また、認知症の具体的な施策としては、認知症を正しく知ってもらう活動や予防に取り組む。歳入不足対策については、介護給付費準備基金

からの繰り入れで必要額を補えると考えている。歳出部分を最小経費での工夫については、必要なサービスを安心して利用していただけるよう、必要な経費を確保し、今後の介護給付費抑制に向け、介護予防事業や健康増進事業を通じ、住民の皆様が健康で、生き生きと活力ある生活を送っていただきたい。

## 令和7年度予算

**町** 活力ある生活を送っていただくための施策を実施  
**令** 令和7年度介護保険事業特別会計予算を問う

**町長**  
西日本豪雨災害の甚大な被害からの復旧工事は完了したが、人口減少が進んでいる地区がある。重点施策として小屋浦一丁目の再開発事業を位置付けている。小屋浦地区に賑わいを創出し、人口増を図るため、町有住宅用地として新たに取得した旧シエル石油用地を活用し、商業



4車線化が待たれる国道31号

44年ぶりの町長選挙があり、9期目の当選となった。その選挙公約で8つの施策があったが、今後の町政運営は。

**議員**  
県道坂小屋浦線の整備、慢性的な交通渋滞の国道31号の4車線化と歩道整備は。

用地や公営住宅などの誘致・整備に着手したところである。

**町長**  
県道坂小屋浦線は、現在JR呉線や国道31号を越える高架橋の下部工事を行っている。令和7年度からは上部工へ着手し、総頭川渡河部の工事は、令和8年度完成予定。国道31号の4車線化は、高尾橋から北新地運動公園までの埋め立て本申請や用地買収を行っている。

地方創生のため、首都圏だけでなく、県内外からの移住者や町民の起業や事業承継、空き家活用での企業に、事業資金などの補助をしては。



奥村 富士雄 議員

**議員**  
地域経済の活性化、空き家活用などを町ぐるみで取り組むため、行政、商工会、大学、金融機関、企業などで協議会を立ち上げ、取り組んで

**議員**  
町内無店舗地が広がっており、移動販売車が巡回しているが、地区集会所を活用し、商品などの販売を定期的に行えば便利になるのでは。

**町長**  
なかなか難しい問題だが、実証的にモデル事業としてスタートすることはできると考える。



キッズ起業家育成塾

## 町長公約

**9期目当選で今後の町政運営は**  
**町** 人口減少に歯止め、賑わい創出で復興を

## 起業支援

**町** 地方創生に移住者等の起業支援を  
**産** 産官学金労言で連携し、創生の施策を検討の予定